

まちづくり交付金 事後評価シート
門司港地区

平成21年12月

福岡県北九州市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	門司港地区			面積	261ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,468百万円	国費率	0.353		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園：和布刈公園の整備、鎮西橋公園の整備 高質空間形成施設：サイクリングロード・遊歩道の整備、総合案内標識及び界限散策路表示の整備、レトロ観光列車駅周辺整備 既存建築物活用事業：旧JR九州本社ビルの活用						
		提案事業	地域創造支援事業：レトロ観光列車の運行、まちづくり活動推進事業、景観等まちづくり協議会運営支援、周回交通機能整備支援、歴史的建造物活用事業、公共空間活用活動支援、門司港魅力再発見・発信事業						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路：門司東本町線、田野浦港線、黒川白野江東本町線、老松町長谷1号線、栄町錦町1号線、栄町1号線、栄町5号線 地域生活基盤施設：門司港レトロ多目的広場の整備 高質空間形成施設：観光特化型周遊バス等運行ルート整備、門司港ウェルカムロードの整備、電線地中化・舗装高質化整備		道路：交通アクセスの安全性や快適性の向上を図る。 地域生活基盤施設：観光地として賑わいを高めるとともに、滞在の長時間化を促進する。 高質空間形成施設：利用者の利便性や魅力向上をはかり、来訪者の増加を促進する。			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響があるが、目標も指標も据え置く、	
		提案事業	地域創造支援事業：旧門司三井倶楽部の活用、門司区役所(旧門司市役所)の保存・活用		重要文化財、登録文化財の修繕により、多くの利用者増加が見込まれる。また、周遊バス利用者の利便性を向上する。			まちづくりの目標達成に向け、プラスの影響がある。特に、目標1(歴史的建造物の保存・活用の促進により、地域の魅力向上を図る)への効果があるが、目標も指標も据え置く。	
交付期間の変更	当初変更	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	観光入込客数	万人/年	231	H16	242	H21	214	231		あり	全国的な景気の衰退により、当初計画していた旧JR九州本社ビルの活用が出来なかったことにより、平成20年1月のモニタリングで予測した目標値まで、観光入込客数を増加させることはできなかったが、門司港レトロ多目的広場の整備やレトロ観光列車の運行などにより減少を止めることはできた。	平成23年8月
指標2	イベント開催数	回/年	224	H16	236	H21	244	265		あり	イベント開催用の多目的広場の活用が多くなったことや、地元や民間事業者を主体としたまちづくり活動が活発化したことにより、地区全体でのイベント開催数が増加したと思われる。	平成22年5月
指標3	レトロ-和布刈地区間回遊率	%	13.8	H16	20.7	H21	24.2	41.1		あり	門司港レトロ地区から和布刈地区を周遊するレトロ観光列車及び観光用バスの運行により、両地区間の回遊性が大きく向上したと思われる。また、和布刈地区も含めた魅力マップの作成により、和布刈地区への来訪者も増加したものと考えられる。	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況

指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	万人/年	160	H16	141			平成18年度に141万人と減少したが、その後、イベントの増加や観光列車の運行などの事業成果により、各施設の来訪者が増加したと思われる。	平成22年5月

4) 定性的な効果発現状況

まちづくりシンポジウム・意見交換会の実施や、景観を主体にまちづくり活動を推進する組織「門司港まちなみづくり協議会」の設立(平成19年6月設立)など、地元を主体としたまちづくり活動が活発化するとともに、観光地としての「おもてなし」の意識づくりが図られ、今後はより質の高い観光地への成長が見込まれる。

5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
		モニタリング	評価値	
モニタリング	指標1～3に関するモニタリング(平成20年1月)	都市再生整備計画に記載し、実施できた		必要なものについては、継続的に数値を把握・評価する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	門司港レトロ魅力づくり応援団の運営支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も地域住民・まちづくり団体と連携しながら、必要に応じて実施していくもの。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	景観等まちづくり協議会運営支援	都市再生整備計画に記載し、実施できた		同協議会の運営に、行政はオブザーバーとして参加し、連携していくもの。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2 - 2 地区の概要

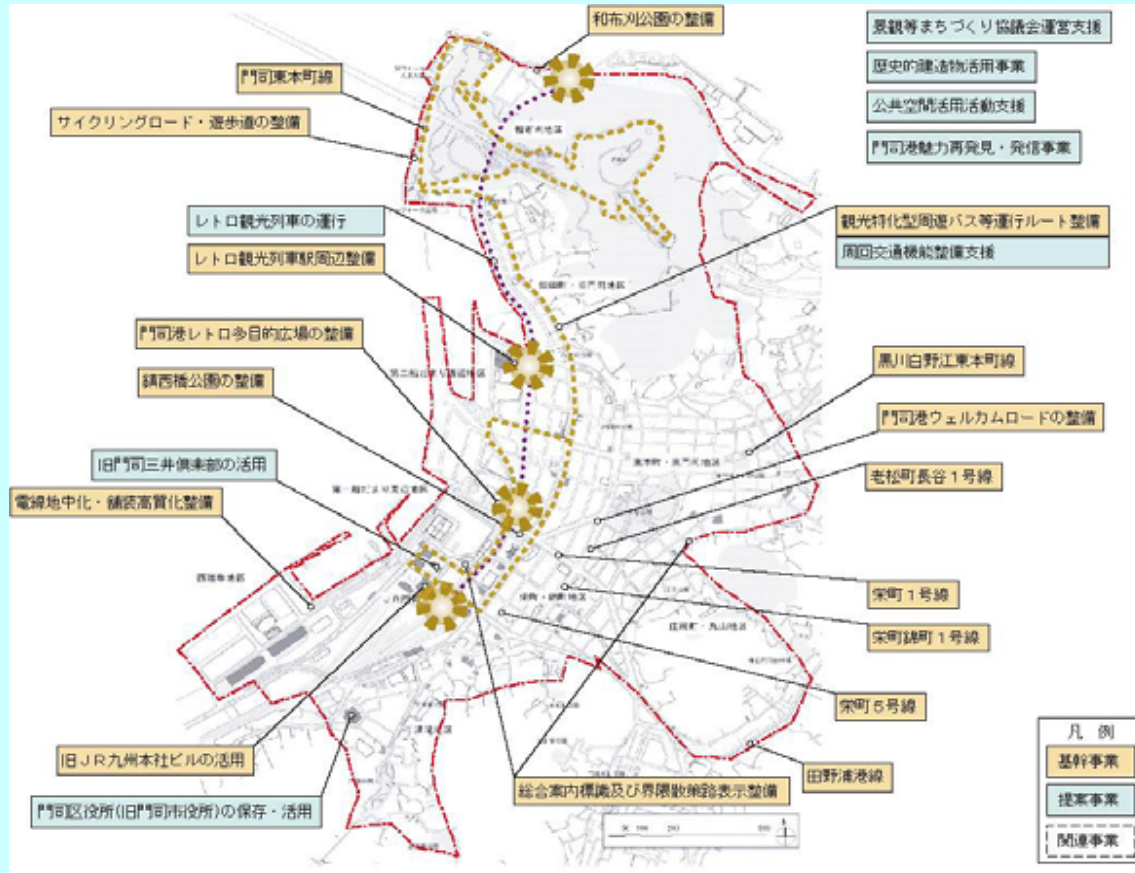
門司港地区(福岡県北九州市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 歴史的な遺産のさらなる活用等により、観光振興を促進し、門司港地区の活性化を図る。 目標1: 歴史的建造物の保存・活用の促進により、地域の魅力向上を図る。 目標2: 回遊路の整備や交通手段の充実化により回遊性を向上させ、滞在の長時間化を図る。 目標3: 旧市街地の再生と賑わいづくりを通して、地域の魅力を向上させ、来街者の増大を図る。 目標4: まちづくり活動の支援により、地域住民・民間事業者との連携を強化し、観光振興を図る。	観光入込客数	単位: 万人/年 231 H16	242 H21	231 H21
	イベント開催数	単位: 回/年 224 H16	236 H21	265 H21
	レトロ-和布刈地区間回遊率	単位: % 13.8 H16	20.7 H21	41.1 H21
	レトロ地区各施設入館者数	単位: 万人/年 160 H16		187 H21

レトロ観光列車の運行
レトロ観光列車駅周辺整備



旧門司三井倶楽部の活用



和布刈公園の整備



門司港レトロ多目的広場の整備



まちの課題の変化

様々な事業により年間200万人を超える観光客が訪れる北九州市を代表する観光地であり、イベント開催数の増加やレトロ-和布刈間の回遊性の向上などが促進された。今後は、旧市街地への回遊性の向上や更なる滞在の長時間化が課題である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

滞在時間の長時間を促進するソフトの仕組みづくりを行うとともに、和布刈地区における施設整備、新たな観光資源の発掘や魅力向上等により、更なる滞在時間の長時間化を進める。商店街の魅力向上で商店街への回遊性を高め、情報発信機能の充実により、門司港地区の活性化を図る。観光地としての交流人口の増加に加え、住みやすいまちとして、定住人口の増加を促進する。市民が集う拠点の整備や市民活動の支援により、更なる市民活動の活性化を進める。